

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称															
用地取得業務															
測定年度		2021 (R3) 年度				部		土木部				課		用地課	
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4					
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
		施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち											
		実行計画名													
1. 事務事業の概要															
種類		内部管理				特性		内部事務				区分		一般内部管理事務	
事業期間		2010 (H22) 年度				年度		~				年度まで			
根拠法令等		土地収用法													
関係補助金名称												サンセット			
関係附属機関名称															
事業対象		メインターゲット		用地取得を必要とする事業課職員											
		サブターゲット		用地買収対象区域内の土地所有者、物件所有者及びその他関係人											
		ターゲットが抱える課題		用地取得に際して効率的な事務手続きが求められている。											
		ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		各事業に要する用地取得が適切にスムーズに行われている状態。													
事業概要		<p>各事業に係る事業用地の権利者に対し、土地等の補償内容の説明・交渉を行い、用地の取得に取り組んだ。各事業の用地取得依頼の内、都市計画道路長尾杉線(長尾工区)整備事業の用地取得業務の一部については、事業の緊急性及び支障物件(住宅家屋等)が数多く存在する地域であることから、スムーズな事業展開を図るため、本事業に係る用地取得業務の一部を委託している。</p> <p>また、令和3年度から新たに牧野高槻線の用地取得について大阪府から受託している。</p>													
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						適切な交渉・協議の上、より多くの用地を取得できる。				用地の取得に向けて、各事業に係る事業用地の権利者に対し、適切な交渉・協議を行う。					
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
		指標説明		用地取得面積(合計)				交渉・協議件数							
		指標種類		単位				単位				単位			
		指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
		目標(見込み)						3,000 1,500 130 430				90 90 90 90			
		実績						16,923.84 2,947				129 223			
		達成度						196%				248%			
分析						地権者に丁寧に説明し、事業の理解を得ながら用地買収交渉を進めたことにより、実績値は目標値を大幅に上回った。				地権者とときめ細かな交渉・協議を行ったことにより、交渉・協議件数は大幅に増加した。					
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						委託業者により、各事業に要する用地取得が適切にスムーズに行われている。				用地交渉業務委託の発注を行う。					
指標設定②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
		指標説明						土地売買等契約の締結割合(累計) 【算出式: 買収済面積 / 買収対象面積 × 100】				用地交渉業務委託の発注率 【算出式: 委託契約件数 / 委託発注件数 × 100】			
		指標種類		単位				単位				単位			
		指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
		目標(見込み)						30 85 95 100				100 100 ? ?			
		実績						77 86.50				100 100			
		達成度						102%				100%			
分析						実績値は目標値を1.5ポイント上回り、順調に進捗している。				令和2年度に引き続き、用地交渉業務の委託を行っている。					

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					大阪府から受託した事務事業の用地取得において、適切な交渉・協議の上、より多くの用地を取得できる。				大阪府から受託した事務事業の用地取得に向けて、事業用地の権利者に対し、適切な交渉・協議を行う。					
指標設定③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				土地売買等契約の締結割合(累計) 【算出式: 買収済面積 / 買収対象面積 × 100】				交渉・協議件数					
	単位				単位				単位					
					%				件					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込)						-	0	10	40	-	0	45	90
実績						-	0			-	0			
達成度				0%				0%						
分析				令和3年度は地権者を対象とした説明会を実施するとともに測量に着手した。				令和3年度は地権者を対象とした説明会を実施するとともに測量に着手した。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	8.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	33,888	45,059	60,822		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	4,720	6,193		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	33,888	49,779	67,015		
	物件費計	497	9,671	30,066	41,270	73%
	歳出計	34,385	59,450	97,081		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	5,847	16,000	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	5,847	16,000	
	一般財源	34,385	9,671	24,219	25,270	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>用地取得業務全体としては、一部交渉が不調となったものもあるが、地権者ときめ細かな交渉・協議を行い、計画的に用地買収を進めたことにより、用地取得面積は目標値を大幅に上回った。[ロジック①]</p> <p>また、個別の事業としては、長尾杉線(長尾工区)道路整備事業については、令和2年度に引き続き、業務委託を行い、土地売買契約の締結割合は目標値を上回り、順調に進捗した。[ロジック②] また、牧野高槻線及び京都守口線整備事業については、大阪府と本市の間で締結した覚書に基づき用地買収を進め、令和3年度は、地権者を対象にした用地買収に関する説明会を開催するとともに、測量に着手した。[ロジック③]</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、地権者に対して買収する目的や内容、補償額等を丁寧に説明し、事業への理解を得ながら、計画的に用地取得を進めていく。また、委託している用地交渉業務については、委託の効果が最大限発揮できるよう、適宜モニタリングを行いながら、進捗管理に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	用地課運営事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	用地課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務		
事業期間	2010(H22)年度				年度	~		年度まで						
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称									サンセット					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		課職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営事務が円滑に進む。													
事業概要	各事業の土地取得に伴う、運営事務。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		単位		単位		単位							
	指標種類													
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)												
	実績													
達成度														
分析														

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.45
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

#### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,296	10,766	11,393		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	11,296	10,766	11,393		
	物件費計	174	181	702	569	123%
	歳出計	11,470	10,947	12,095		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	11,470	181	702	569	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	課の予算・決算、各種照会・回答等の調整・執行管理及び、在課職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告、会計年度任用職員の賃金関係の報告など、課の運営に係る事務を適切に実施した。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、課の運営が円滑に行えるよう、適格に各種事務を実施する。また、各種照会・回答等の執行管理など効率化を図れる業務については改善を検討していく。